

第 19 回殺菌剤耐性菌研究会シンポジウムのご案内

日 時 : 平成 21 年 3 月 29 日 (日) 9:00 ~ 16:00

場 所 : 山形大学 小白川キャンパス 教養教育棟 2 号館 222 教室

〒990-8560 山形市小白川町一丁目 4-12 TEL (023) 628 - 4006

J R 山形駅前から東原経由千歳公園行きバス (約 10 分) で山大前下車。

(J R 山形駅から東方へ約 2km)

参加費 : 3,000 円 (学生の方および講演要旨集のみご希望の方 2,000 円)

参加申込 : 当日会場にて受付

昼食について : 当日、山形大学のご好意により学生食堂が営業いたします。ぜひご利用下さい。

《プログラム》

9:00- 9:05 開会

9:05- 9:40 山形県における水稲病害および殺菌剤耐性菌の発生状況

早坂 剛 (山形県農林水産部)

9:40-10:30 理論疫学からみた殺菌剤耐性菌の動態と防除対策

鈴木 清樹 (総合研究大学院大学・九州大学)

10:30-11:20 岩手県におけるりんごハダニ類に対する殺ダニ剤の合理的使用体系

鈴木 敏男 (岩手県農業研究センター)

11:20-12:00 新規殺菌剤ピリベンカルブの開発と耐性菌マネジメント

高垣 真喜一 (クミアイ化学工業)

(昼食休憩 60 分)

《QoI 剤耐性菌の現状と課題》

13:00-13:20 岐阜県におけるトマト葉かび病菌のアゾキシストロピンに対する感受性低下

渡辺 秀樹 (岐阜県農業技術センター)

13:20-14:00 QoI 剤耐性ブドウ褐斑病菌の発生

(13:20-13:40) 1. 岡山県の例 井上 幸次 (岡山県農業総合センター)

(13:40-14:00) 2. 福岡県の例 菊原 賢次 (福岡県農業総合試験場)

14:00-14:40 QoI 剤耐性の現状と課題

石井 英夫 (農業環境技術研究所)

(休憩 15 分)

14:55-16:00 パネルディスカッション

「QoI 剤耐性菌の発生要因とその対策、マネジメントのあり方を考える」

[パネラー] 研究, 指導, 製造, 流通各方面におけるエキスパートの方々をお願いしました。

石井英夫 (農業環境技術研究所)

梅本清作 (千葉県農林総合研究センター)、岡田清嗣 (大阪府環境農林水産総合研究所)

井上幸次 (岡山県農業総合センター)、稲田 稔 (佐賀県農業試験研究センター)

林 敬介 (シンジェンタジャパン)、木村 恒 (B A S F アグロ)

武田敏幸 (J A 全農営農・技術センター)

[座 長] 宗 和弘 (J A 全農肥料農薬部)

本プログラムの内容は、都合により変更することがあります。

お問い合わせ先 : J A 全農 肥料農薬部 大阪肥料農薬事業所 宗 和弘

〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満 1-2-5 大阪 JA ビル 3 階

(TEL)06-6316-2186 (FAX)06-6314-3184 (E-mail) sou-kazuhiro@zennoh.or.jp